

公明党

県議団ニュース

2008 Oct. 34

県政に関する ご意見・ご要望を お寄せください。

埼玉県議会公明党議員団

**TEL 048-822-9606
FAX 048-822-9408**

公明党議員団ホームページ

<http://www.komei-saitama.com>

さいたま市浦和区高砂3-15-1

知事に21年度予算要望

福祉や医療、原油高対策など 198項目 速やかな実施求める

埼玉県議会公明党議員団は、9月定例会最終日の10月10日、上田清司知事に21年度予算要望書を提出した。席上、福祉や医療、原油高対策など喫緊の課題を含め198項目にわたる予算要望の速やかな実施を求めました。



一主義で対話を重ねてまいりました。そうした対話の中で「何とかしてほしい」との声をたくさんの方から切実な声をいただきました。それを反映させた要望内容となっています。

原油・原材料

9月定例会閉会 庶民の立場で全力尽くす

各種団体と意見交換会を開催

【産業団体など】▽埼玉県地質調査業協会▽

【産業団体など】▽埼玉県地質

質調查業協会△

埼玉県建設業協会▽埼玉県建設産業団体連合会▽埼玉県道路舗装協会▽埼玉県浄化槽協会▽埼玉県商工会連合会▽埼玉県商工会議所連合会▽埼玉県中小企業団体中央会▽埼玉県安全施設協会▽埼玉行政書士会▽埼玉県造園業協会▽埼玉県体育協会▽埼玉司法書士会▽全国自動車運転教育協会▽埼玉県医師会▽埼玉県電業協会▽埼玉県ビルメンテナンス協会▽NPO法人埼玉県日本中国友好協会▽埼玉県電気工事工業組合【福祉団体】▽NPO法人埼玉県腎臓病患者の会▽埼玉県学童保育連絡協議会▽全国脊髄損傷者連合会埼玉県支部▽埼玉親の会「麦」▽埼玉県発達障害福祉協会▽埼玉県自閉症協会

A portrait photograph of Setsuko Miyata, a woman with short dark hair, wearing a blue jacket over a white shirt. She is smiling at the camera.

西田 矩子 議員



石渡 豊 議員

積極的に質疑や意見提言を行なと県民の声を聞政に反映すべく全力で取り組みました。

西田議員は、原油・原材料高に伴う緊急対策（中小企業支援のための県制度融資、ダンピング防止等の強化）、新生児聴覚障害対策（新生児聴覚検査の完全実施、イヤーセンター（仮称）の設置と専門コメディネーターの配置）、発達障害者に対する支援児童生徒の脳脊髄液減少症対策、認知症対策、介護施設の人材確保などについて質問を行いました。

原油・原材料高だけでも苦境に陥っている中小企業は、リーマン・ブロザーズの破綻に端を発した世界的な金融・経済危機の影響が心配されており、その窮状を知事に強く訴えました。

特に、取引先の倒産などにより県制度融資の返済

石渡議員は、自宅での突然死、県営住宅入居者への更なるサービスの向上、災害に強い県づくり（防災センターの設置、災害拠点病院の体制）、県内小中学校における米飯給食の拡充、救急医療体制の確保、魅力ある県立病院づくり、などについて質問しました。

災害時の拠点となる防災センターの早期設置を強く求めたのに対し、知事は「県庁に隣接する敷地に、情報収集や意志決定を行いうための災害対策本部や総合調整対策室などを備えた防災センターを整備したい」とし、早期実現に向け検討したいと答弁。

また、今回の石渡質問により、県は県営団地の入居時の敷金を現在の3ヶ月分から2ヶ月分に減額を表明、入居決定通知書の早期発行により、入居決定者が県営団地入居月に県営住宅と従前の住居の家賃を二重に払う状態を解消できることになりました。

が不能に陥るケースを取り上げ、その対策を求めました。知事は倒産企業を指定することことで低利融資の対象を拡大することで、より細やかに連鎖倒産を防止することを約束しました。